

令和5年11月議会関係要求資料

名古屋港管理組合

目 次

新舞子マリパーク風力発電施設の経緯と実績-----1 頁

所管委員会

企画総務委員会

港管建設委員会

新舞子マリノパーク風力発電施設の経緯と実績

1 経緯

新舞子マリノパーク風力発電施設については、再生可能エネルギーを活用した電力供給源を確保することにより、名古屋港から排出される温室効果ガスの削減を目的として設置し、平成17年2月の運転開始後、維持管理及び修繕を行いながら稼働していたが、現在2基とも故障により停止（1号機：令和3年12月、2号機：令和2年5月）している。

2 実績（1・2号機合計）

【風力発電事業について】

	発電量	売電収入等①	支 出		収 支 (※) ①－(②+③+④)
			設置費（調査、設計費含む） 397,872千円 （うち本組合負担233,943千円②、 補助金163,929千円）	維持管理費③ 163,219千円	
実 績	33,457 MWh	531,410千円	428,188千円 （うち本組合負担239,786千円②、 補助金188,402千円）	183,832千円	146千円
整備時の想定	51,204 MWh	602,159千円		—	178,541千円

※稼働停止後令和4年度以降の維持管理費（年間約10,000千円）及び撤去費は別途必要

発電量は、故障などにより整備時の想定を下回るようになったが、本施設の稼働により、これまでに温室効果ガス（CO2）の排出量を約14,900t削減することができた。

また、本施設は、平成17年に開催された愛・地球博の愛知県館への再生可能エネルギー電力の供給や、資源エネルギー庁が平成20年6月に次世代エネルギーパークとして認定した「あいち新エネルギーパーク」に構成施設として位置付けられるなど、地域の意識向上、環境啓発に寄与してきた。さらに、港内各所では、民間企業によるメガソーラーが立地され、再生可能エネルギー設備の導入が促進されるなど、名古屋港及び周辺地域の地球温暖化対策として重要な役割を果たしてきた。

